

講座

こころの友伝道入門シリーズ④

こころの友伝道の活動 ①



こころの友伝道全国連合会・会長

深谷春男

日本基督教団新宿西教会
牧師



わたしたちの「こころの友伝道」の働きは、1951年に「訪問伝道」と言う名称で始まりました。そして、1969年に「訪問伝道全国連合会」が創設され、1997年に「こころの友伝道」と改称されて今日に至っています。わたしがこの伝道の働きに加わったのは1985年のころでしたが、勧めて下さった満丸茂先生が「深谷先生、この信徒伝道者の組織は大変貴重です。日本中の教会に教会学校があるでしょう。それと同じようにすべての教会に『訪問伝道』（現在の『こころの友伝道』）があるべきと考えています。先生のところでも始めませんか？」との働きかけで、当時、赤羽教会で牧師をしていましたが、役員会に提案しましたら、やりましょう！ということになって、この会が始まりました。

教会の中で、この「こころの友伝道」の活動を始めてみたいとお考え方々に、その「始め方」を書かせていただきます。

* 組織された「こころの友伝道」

わたしたちの団体の名称が、その性格を現しています。教会に来られた求道者に「こころの友」となり、イエス様の救いを受け、洗礼の恵みに至る時まで、その求道者に寄り添い、相談相手となり、祈る働きがその目的です。それを組織として教会に位置付ける働きです。

教会の役員会、伝道委員会の承認を経て、会の名称、会長、書記、会計などを決め、必要経費など、教会予算にも組み入れていただけると幸いです。

* まず最初に

始めるにあたっては、「訪問伝道全国連合会」

に「講師依頼」を連絡すると、「連合会」から、講師を派遣します。派遣された講師は、メッセージ、あるいは証しを通して、この働きの恵みを説明し、集まった方々から質疑応答の時を持ち、できれば、奉仕者への献身決意を提出していただき、自覚的にこの働きに加わっていただくのが、一番多い例でしょうか。

1) 奉仕者は、牧師と連携して、方法も祈りつつ検討して決定しましょう。

2) 奉仕者はできるだけこの働きに専任できるようにすると力が注げます。

3) 毎月、あるいは毎週でも奉仕者が集い、「こころの友伝道部会」などが開けるようにします。そこで、必要な報告をし合い、「こころの友伝道誌」「こころの友伝道の手びき」などを読み合い、または良いテキストで学びの時を持ち、霊的な整えをし、求道者のために祈りあいましょう。

4) 教会の礼拝の受付を、こころの友奉仕者が共に奉仕できると求道者が来られたときに、お声がけなどができて助けになります。

5) 全国連合会本部、支部から講師を招いて指導を受けることができます。

また、支部講習会、全国大会に出席して、学びと、霊的恵みを受けることができます。これらの大会に参加する費用の一部を教会で援助すると多くの方々が参加することができます。

「教会学校」の働きが、多くの教会の中にあるように、信徒伝道者の働きである「こころの友伝道」の働きが、すべての教会の中に組み込まれて、魂の救いのために、愛と祈りを持って仕えるプリスキラとアクラのような信徒伝道者が与えられ、神の家族がつつぎ起こされ、喜びが広がっていきますように。